

(株)タカミ
(三重・伊賀)

ヤードに花畑を造りました。



タカミのメインヤードである西明寺工場

タカミは製鋼原料を中心に製鋼原料、非鉄金属、産業廃棄物、廃家電リサイクルを手掛ける有力ヤードディーラー。同社では昨年夏、ヤード北部のスペース活用を狙い、工場内の環境整備工事に着手。1250㎡、ギロチンシャー北側の約2310平方メートルにコンクリートを敷設して製品置場を造り、油水分離槽1基を増設。その北側に憩いの場として花畑を造った。

株式会社タカミ(三重県伊賀市西明寺2301、高見景三社長)では、今年3月から工場内にある花畑の改修工事に着手し、このほど完成となった。サルビアやマリゴールドなど、色とりどりの花々が季節ごとに咲き誇り、ヤードに彩りを添えている。今回の改修工事では水を良くするため、花畑の中央部分を高くしてマウンド形状に造成。花を間近で鑑賞できるように花畑の中に放射状に歩道を通った。また花畑の隣には休憩所を設けるなど、従業員をはじめとして訪れる人々の憩いの場となっている。

サプライズのある会社を目指す

ジ、アシサイなどの低木植物を植えた。スプリングクレーを9カ所設置し、自動で撒水できるシステムになっている。ヤード用地も拡張して

状の歩道を造り、13エリアに分けてサルビアやマリゴールド、ペチュニア、ピンカの花のほか、サツキやドウダンツツ

北側境界線には擁壁を建設した。周囲には従業員がお金を出し合って花木の苗を植え、自分の木の成長を見守っていく予定である。

花畑横には36平方メートルの休憩所を建設。昼休憩などには従業員がここでのおしゃべりも多くなっている。今後は従業員らとパーベキューや花見などを企画して、この癒しスペースを活用していく予定である。

高見社長は「不況など暗い話題が多いが、世の中を少しでも明るくしようと計画した。従業員や訪れるお客さんに少しでもほっとしてもらえれば」と話している。

今春、高見社長の長男である尚吾氏が中田屋での2年間の修行を終えてタカミに帰ってきた。今年5月4日に結婚式を挙げ、専務取締役として同社に新しい風を吹き込む。

「本当に2年間、いい勉強をさせてもらいました」と業界大手の懐の深さを実感し、感謝の念を忘れていない。その成果は今後のヤード経営に活かされることだろう。タカミはいま、この花畑の如く満開である。



花畑の東に建てられた休憩所で人々が集う



スプリングクレーを9カ所設置して自動で撒水



6.7.8平方メートルの花畑には季節の花が咲き乱れ、ヤードを色鮮やかに彩る

次の世代に プラスの遺産を

この地球には未だに地雷や爆弾が埋まっている国があります。人類は自分たちが考えているほど賢くはないのかも知れません。だからこそ、次の時代に平和な遺産を残そうではありませんか。地雷を残すか、花畑を残すかは私たち次第なのですから。

製鋼原料・ギロチンシャー・プレス加工・産業廃棄物中間処理
家電リサイクル・廃プラスチック・廃木材リサイクル・自動車リサイクル

TAKAMI 株式会社 タカミ

代表取締役 高見景三

三重県伊賀市西明寺2301

電話 0595-24-4141 FAX 0595-24-4355

E-mail: info@ktakami.com

URL: http://www.ktakami.com



ISO14001取得を記念して建設した環境モニュメント



ISO14001 認証登録

西明寺工場